

トヨタ
BJ



万能用途をもつ

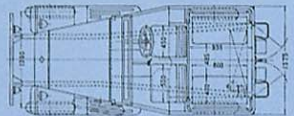
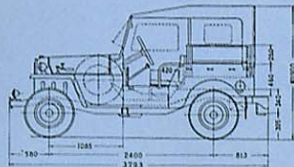
トヨタBJ



幌はキャンバス製で脱着はホック及びバンドによって簡単にできます。また鋼鉄製扉も簡単に一人で取外しができます。

トヨタBJは強力85馬力エンジンを装備した四輪駆動の軽快な自動車であります
乗車定員は貨物として使う場合は 人員2名の外に貨物500kgの積載ができて また乗用だけの場合は6名乗車できます
この車はどんな地形でも縦横に疾駆できる強力な機動力が特長です 人員輸送 あるいは荷物の運搬その他あらゆる用途に使用でき 特に激しい活動力を必要とする向きに 例えば自衛隊 警察 土建などの警備 連絡 情報交換に好適であります

トヨタBJ寸法図



何処でも走るBJ

強力なエンジンと四輪駆動装置を備え 又操縦装置の優れたトヨタBJはどんな悪い路面でも不整地でも平気でぐんぐんと走破します



どんな悪路でも…
路なき路でも平気で走る機動性。これこそこの車の大きな魅力です。



軽快なスピード
最高時速は99km。加速性能が優れ、容易に高速を出すことができます。



水中 湿地でも…
膝を没する河の中や、軟弱な湿地でも、四輪駆動の威力をもつて軽々と突破。



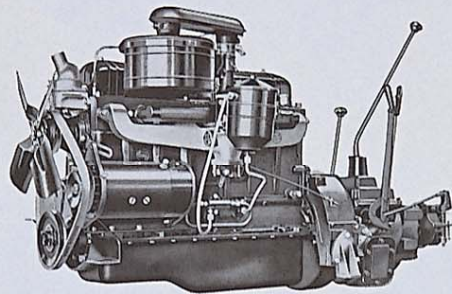
強力な登坂力
最大登坂能力は97.5% (44°15') 大いこの斜面は平気でぐんぐん登ります。



優れた旋回能力
車身の安定がよく、急旋回しても安全です。最小回転半径は5.5米。

強力 **85** 馬力エンジン

6気筒直列頭上弁式、総排気量 3,386ccその最高出力は3,200 毎分回転において強力85馬力、四輪駆動装置と共に最大時速99km、登坂力97.5% (44° 15')の高性能をもちております。
なおエンジンは無線機の雑音防止のため、点火回路、充電回路にはそれぞれレジスタンス・コンデンサーを挿入してあり、また完全なアースがとってあります。



ゼネレーター

6V-240W、たゞし無線車の場合は6V-300Wの低速充電、特殊型を使用します。



ボルテージ・レギュレーター

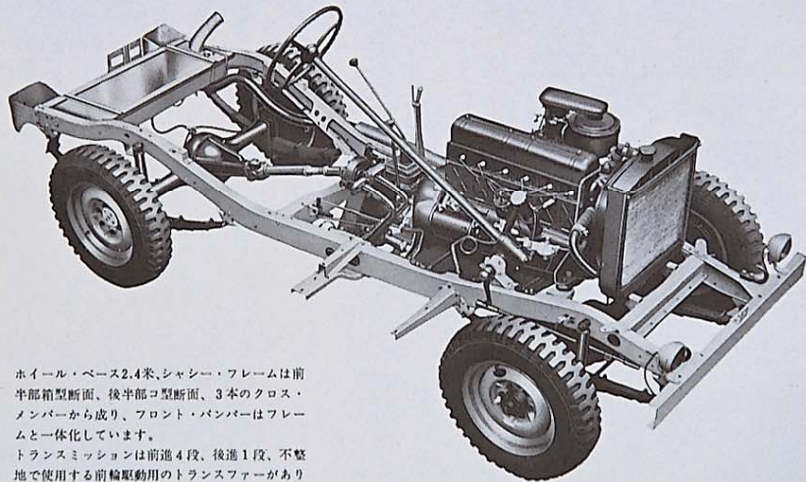
常に一定電圧の電流を必要に応じて適量に供給する作用をします。従って無線用としては最適の働きをします。



バッテリー

6V-120AH、たゞし無線車の場合は無線機用電源を兼ねる6V-200AH容量のものを使用します。

頑強なシャシー



ホイール・ベース2.4米、シャシー・フレームは前半部箱型断面、後半部コ型断面、3本のクロス・メンバーから成り、フロント・バンパーはフレームと一体化しています。
トランスミッションは前進4段、後進1段、不整地で使用する前輪駆動用のトランスファーがあり如何なる地形をも突破します。

無線機の雑音防止

1. 点火回路

点火回路には高圧スパークが発生しますから無線機はこの影響を受けて、雑音を生じたり感度が低下したりして機能が妨害されます。この被害を防ぐため「A型」ノイズ・サプレッサー・レジスタンスをコイルとディストリビューター間にまた「B型」をスパーク・プラグの頭部に設け、イグニッション・ノイズの発生を抑制してあります

2. 充電回路

ゼネレーター・ブラッシュ、レギュレーター・ポイントなど主要充電回路には、ノイズ・サプレッサーとしてコンデンサーを挿入し、雑音を防止しています。

3. 車体関係

車体のネジやボルトの緩みによつて金属部分が互に接触するとき、完全導体になつていない帯電体相互間に静電的放電を生じ、無線機に妨害を与えます。このためシャーシ、ボデーの各接続部の電氣的抵抗が存在すると思われる箇所は、すべて緩織銅線を以て連絡し、ノイズの発生を防止してあります。

トヨタB J無線車

無線の装備によってトヨタB Jの軽快な機動力は一層有効に活用できます 無線機は周波数変調方式無線電話で 操作簡便 音質がよく 耐振 耐熱にすぐれたものでケース及び電源は後部座席にあり制御器 スピーカー ハンド・セットは計器盤左側に装備してあります

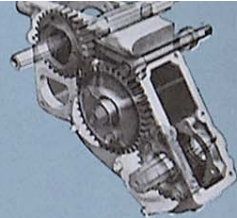


トヨタB J特殊工作車

万能用途に向くトヨタB Jは 乗用や運搬用ばかりでなく 移動する動力源にも活用できます 山奥の電源のない場所で 各種建設用機械の作動例えば伐採 製材 ウインチ作業などには パワー・テイク・オフを利用し これに簡単な装備をつければ 前部 中央部 後部の3カ所から動力を誘導することができます

トランスファー

トランスファーはトランスミッションの後部にあるフロント・ドライブ用の補助歯車装置であり、必要に応じてトランスファー・レバーを引けば、前輪を駆動し、後輪駆動と共に強力な駆動力を発揮します。なおレバーの操作はクラッチ操作を要せず、また車を停止することなく行うことができます。



ショック・アブソーバー

アブソーバーは筒型の油圧車動式でワレームとスプリング間にはほとんど直立して取付けられ、個数は前後計4個であります。悪路、不整地の運行にも跳躍と衝撃を緩和し、操縦の安定及び乗心地を良好にします。

フロント・ドライブ・システム

フロント・アクスルは全浮動式でハウジングはホッチキス型であります。デフ・ハウジングは車両中心より右側に偏しており、デファレンシャル（減速比は後軸同様4.11）により減速された駆動力はアクスル・シャフトからステアリング・ナックルのボール・ジョイントを経てドライブ・シャフトに伝達され前輪を駆動します。

